

事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部 農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上 主直 (主幹兼田園空間係長 新見明)	内線	3931 (4028)
--------------	-------------------------	---------------------	-----------------------------	----	----------------

事業種目	農村総合 整備	事業名	事業区間	総事業費	9.8億円
		地域環境保全型農業推進総合整備事業	黒田庄地区	内用地補償費	0.78億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年度	完成予定 年度
西脇市黒田庄町			H18	H18	H20
事業目的			事業内容		
<p>黒田庄和牛の産地である黒田庄地区において、牛糞を活用した土づくりを行い、減農薬・減化学肥料栽培による環境保全型農業を実践する耕畜連携堆肥還元システムを確立させ、牛糞処理の適正化とともに黒田庄地域の農畜産物のイメージの向上を図る。</p> <p style="text-align: center;">事業主体：西脇市</p>			<p>1 生産基盤 用排水路 1.3km、暗渠排水工 1.0ha [国50%、県12%、市26.6%、地元11.4%]</p> <p>2 近代化施設 土づくり施設 1か所、 [国50%、県 10%、市 40%] 産地管理施設 1式、情報発信施設 1式 [国50%、県 10%、市 40%] 肉用牛 1,300頭、採卵鶏 32,000羽 製造堆肥量 4,950t/年</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が施行され、堆肥化等による適切な処理・利用促進を図ることが求められている。 ・本地区では、耕畜農家の個別交渉により、品質が低くかつ不統一な牛糞堆肥が農地へ施用されているため、地域一体となった取組により、品質化の高度化と統一化を行い、地域全体で計画的施用を推進する必要がある。 ・混住化が進む中、臭気対策等の周辺環境への配慮がますます必要となっている。 			
(2)有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・本事業実施により堆肥製造が集中化され、牛糞処理にかかる時間や経費などについて、畜産農家の負担を軽減することができる。 ・良質な堆肥の施用により土づくりが進み、減農薬、減化学肥料栽培による安全安心な付加価値の高い農産物を生産することができる。 ・家庭から排出される生ごみも堆肥材料であり、循環型社会の構築に大きく寄与する。 ・運営は市がみのり農業協同組合へ委託することとなっており、収支バランスもとれた計画となっている。 ・B / C = 2.19 事業実施の要件を備えている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・臭気対策・污水対策は建設における地元合意の最優先課題であり、周辺環境には充分配慮した施設を計画している。(臭気対策：脱臭装置・捕集ルーフの設置、污水対策：棟内に排水溝を設け 受入ピットに引き込み一次発酵槽で処理) ・有機農業や循環型社会づくりを広く普及させ定着させるため、栽培状況や農作物の品質等について情報発信する。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・黒田庄和牛の産地であり、また兵庫県認証食品農産物として減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでおり、早急な堆肥化施設の整備が望まれる。 ・畜産農家、耕種農家、堆肥化施設建設予定周辺住民、生ごみ排出集落の合意が形成されており、早急な事業化が望まれる。 			